

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 三豊

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準を上回るスペースを確保できています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を上回る十分な配置ができています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			十分に配慮し、必要に応じて段差を解消するなどの対応を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の朝礼時や、定期的なミーティングの中で、業務改善・職員の負担軽減・支援内容について協議し、終礼時やミーティング時に評価・振り返りを行っています。また、朝礼・終礼・ミーティングには、出勤の職員全員が参加するようにしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表に限らず、保護者様からのご意見等に対しては常に真摯に受け止め、業務改善・サービスの質の向上に繋がられています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	体制を整備し実現に向けて取り組んでいます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内の職員研修は毎月1度は開催しており、事例検討を取り入れる等し、職員全体の資質の向上ができるように工夫しています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的なアセスメントだけでなく、日々の利用児童や保護者様との関わりの中で、ニーズや課題を意識しながら接することで、支援計画作成に活かすことができています。
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で作成している標準化したアセスメントツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の朝礼時に職員全体でミーティングし、立案することができています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児童に担当職員を設けずに支援しているため、職員全体で意見を出し合いながらプログラムを立案することができています。また、活動プログラムが固定化されないだけでなく、常に楽しんで活動できるように工夫しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間の長さや状況に応じて課題設定を行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習に関しては個別療育を基本としていますが、利用児童の状況にあわせて製作活動や全体で参加できるような集団活動、少人数での集団学習を取り入れています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時にミーティング・申し送りをを行い、支援内容や役割分担、対象利用児童の最近の様子などを報告・確認しています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時にミーティング・申し送りを行い、その日の支援の様子や普段との違い、気付き等を報告し合うことで共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援後には必ず記録をとることを徹底しており、気になったこと等はその日の終礼時のミーティングで共有し、支援の改善や検証に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		長くても半年に一度はモニタリングを実施している。保護者様からご相談があった際や計画の見直しの必要性を感じた際には期間を問わずにモニタリングを実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		主に自立支援、創作活動、余暇支援が提供できており、定期的に地域交流の機会を提供できるように配慮しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。また、担当者会議の開催前に職員間で対象利用児童の現状について話し、情報の整理を行ってから参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		定期的に学校に連絡を取り合うことで協力・連携体制が確立できており、情報共有や連絡調整も行えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		契約時にかかりつけ医（主治医）について保護者様に書面で確認しています。主治医や協力医療機関に連絡し、連携体制が整備できるように配慮しています。尚、現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		地域の保育所・幼稚園・他事業所とは積極的に連絡の機会を設けることで連携体制が確立できています。情報共有や相互理解も定期的に行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		生活介護や就労支援事業所へ移行する際には、対象利用児童の情報を必要に応じて共有するようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		地域の専門機関が集まる連携会議に出席し、助言や研修を受講しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の催しもの等に参加することで障害のない子ども達との交流・活動の場を設けることができます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時など、保護者様と直接会話できる際には積極的に時間を設け、利用児童の発達状況や、気になる事、課題について伝えあっています。また、中々会えない保護者様に対しては、必要に応じて電話連絡も行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者様から利用児童の成長の悩みや、関わり方についてご相談を受けた際等、必要性を感じた際には適宜行っています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者の方が分かりやすいように配慮して説明を行っています。その際、質問や不明点がないか確認しながら進めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様からのご相談やお悩み事に対して必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			不定期ではありますが開催しており、保護者様同士の連携を支援しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談窓口、苦情受付係を設置し、体制を整備しています。事業所に対するご意見等があれば速やかに対応し、サービスの質の向上に役立させていただいています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページで定期的に掲載しており、保護者様にはホームページの案内をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する書類は全て書庫に保管しており、施錠しています。必要時には管理者が解錠し、使用後に再度施錠するなど、十分な注意を持って取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児童やその保護者様の支援に関わる情報を職員全体に周知し、情報伝達の配慮を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所へのご案内は今後検討しますが、地域の活動に参加させて頂くことで地域の方のご理解やご協力が得られるように努めています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルについては、保護者様が見やすい場所に掲示し、職員にも周知しています。訓練については年に1回ずつ実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震・火事を想定し、年に1回ずつ避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			2か月に1度、事業所内で虐待防止の研修を開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。身体拘束については、契約時に保護者様に分かりやすく説明し、十分な理解が得られています。尚、これまで事例はありませんが、万一必要になった場合は、支援計画にも記載するようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーについては対応に配慮しており、必要に応じて医師の指示を伺っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例は全て記録し、ファイルで管理しており、職員全体で共有しています。	